

NY マーケットレポート (2016 年 12 月 15 日)

NY 市場では、序盤に発表された NY 連銀指数やフィラデルフィア連銀指数が予想を大きく上回る結果となったものの、米消費者物価指数が前月比ベースで低下するなど、まちまちの結果となったことを受けて、ドルは上値の重い動きとなった。その後は、一時 49 ドル台まで下落していた原油価格が大きく上昇したことや、低下していた米債券利回りが上昇に転じたことを受けて、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。ただ、ドルが主要通貨に対して上昇が続き、ユーロは対ドルで 2003 年 1 月以来の安値を付ける動きとなったことで、対円でも軟調な動きとなるなど、クロス円は軟調な動きが続いた。

2016年12月15日 (木)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	117.01	117.88	117.01
EUR/JPY	123.07	123.55	123.07
GBP/JPY	147.56	147.78	146.68
AUD/JPY	87.19	87.29	86.63
EUR/USD	1.0469	1.0540	1.0469

LONDON	高値	安値
USD/JPY	118.68	117.58
EUR/JPY	124.09	123.02
GBP/JPY	148.47	147.18
AUD/JPY	87.53	87.11
EUR/USD	1.0510	1.0405

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	118.17	118.65	117.67
EUR/JPY	123.02	123.53	122.57
GBP/JPY	146.77	147.67	146.36
AUD/JPY	86.91	87.33	86.67
NZD/JPY	83.14	83.55	82.84
EUR/USD	1.0411	1.0449	1.0366
AUD/USD	0.7356	0.7391	0.7338

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	19852.24	+59.71
S&P500	2262.03	+8.75
NASDAQ	5456.86	+20.18
日経225 (CME)	19440	+100
トロント総合	15218.31	+21.12
ボルサ指数	45871.96	-348.58
ボエスバ指数	58396.16	+184.05

12/16 経済指標スケジュール

09:00 【ニュージーランド】12月ANZ消費者信頼感指数
 09:30 【シンガポール】11月電子機器輸出
 09:30 【シンガポール】11月輸出
 11:00 【ニュージーランド】11月非居住者国債保有率
 16:45 【フランス】12月企業景況感指数
 16:45 【フランス】12月製造業信頼感指数
 19:00 【欧州】11月消費者物価指数
 19:00 【欧州】10月貿易収支
 20:00 【英国】12月CBI企業動向調査
 22:00 【ポーランド】11月雇用
 22:00 【ポーランド】11月平均総賃金
 22:30 【米国】11月住宅着工件数
 22:30 【米国】11月建設許可件数
 22:30 【カナダ】10月国際証券取扱高

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1129.80	-33.90
NY 原油	50.90	-0.14
CMEコーン	356.50	-5.50
CBOT 大豆	1029.00	+5.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.272%	1.265%
3年債	1.614%	1.573%
5年債	2.095%	2.038%
7年債	2.422%	2.372%
10年債	2.604%	2.571%
30年債	3.164%	3.184%

ドイツ10年債	0.365%	0.301%
英国 10年債	1.488%	1.386%

12/16 主要会議・講演・その他予定

・リッチモンド連銀総裁 講演

NY 市場レポート

21 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

英中銀政策金利 0.25% (予想 0.25%・前回 0.25%)

英中銀資産購入目標 4350 億 GBP (予想 4350 億 GBP・前回 4350 億 GBP)



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg

英中銀は、政策金利を 0.25%に、資産買い入れプログラムの規模を 4350 億ポンドに据え置くことを全会一致で決定した。BOE は、ここ 1 ヶ月のポンド高を受け、インフレ率が中銀の目標を上回る可能性は 11 月時点の想定より弱まった可能性があるとの見方を示した。ただ「英国と EU の将来の関係について市場参加者の見方が引き続き変化していることから、月ごとの変動は想定される」とした。カーニー総裁は「金融政策委員会はこれまで通り、インフレ期待が引き続きしっかりと固定され、インフレ率が適切な時期に持続可能な形で目標に回帰するよう全ての必要な措置を講じることを確約する」と言明した。

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

米新規失業保険申請件数 25.4 万件 (予想 25.5 万件・前回 25.8 万件)

米失業保険継続受給者数 201.8 万人 (予想 200.3 万人・前回 200.7 万人)
 前回発表の 200.5 万人から 200.7 万人に修正



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

	申請件数	・	前週比	・	4週移動平均	・	受給者数	・	受給者比率
16/12/03	254,000	・	-4,000	・	257,750	・	*****	・	*****
16/12/03	258,000	・	-10,000	・	252,500	・	2,018,000	・	1.5%
16/11/26	268,000	・	+17,000	・	251,500	・	2,007,000	・	1.4%
16/11/19	251,000	・	+18,000	・	251,000	・	2,084,000	・	1.5%
16/11/12	233,000	・	-21,000	・	253,000	・	2,043,000	・	1.5%
16/11/05	254,000	・	-12,000	・	260,000	・	1,983,000	・	1.4%
16/10/29	265,000	・	+7,000	・	258,250	・	2,043,000	・	1.5%
16/10/22	259,000	・	-2,000	・	253,250	・	2,030,000	・	1.5%
16/10/15	261,000	・	+14,000	・	252,000	・	2,040,000	・	1.5%
16/10/08	247,000	・	+1,000	・	249,500	・	2,054,000	・	1.5%
16/10/01	246,000	・	-8,000	・	252,750	・	2,050,000	・	1.5%

受給者数は集計が1週間遅れる

米失業保険申請件数は、前週比-0.4万件の25.4万件と、市場予想を下回り、2週連続で減少した。そして、節目となる30万件を93週連続で下回っている。申請件数の4週移動平均は、前週比+5250件の25万7750件となった。また、集計が1週遅れる失業保険受給者数は、前週比+1.1万人の201.8万人となり、2週ぶりに増加した。受給者数の4週移動平均は、前週比+8750人の203.8万人。そして、受給者比率は、前週比横ばいの1.5%となった。

22 : 30

《 経済指標の結果 》

11月米消費者物価指数（前月比） 0.2%（予想 0.2%・前回 0.4%）

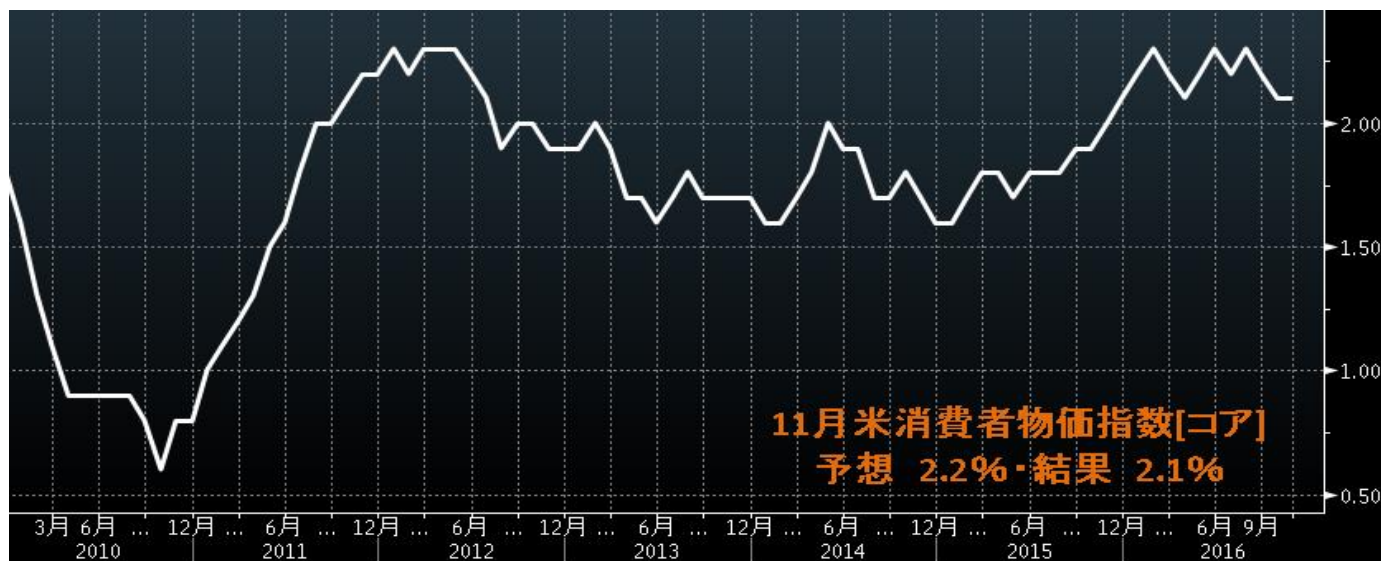
11月米消費者物価指数[コア] 0.2%（予想 0.2%・前回 0.1%）

11月米消費者物価指数（前年比） 1.7%（予想 1.7%・前回 1.6%）

11月米消費者物価指数[コア] 2.1%（予想 2.2%・前回 2.1%）



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

指標結果データ

《米消費者物価指数》

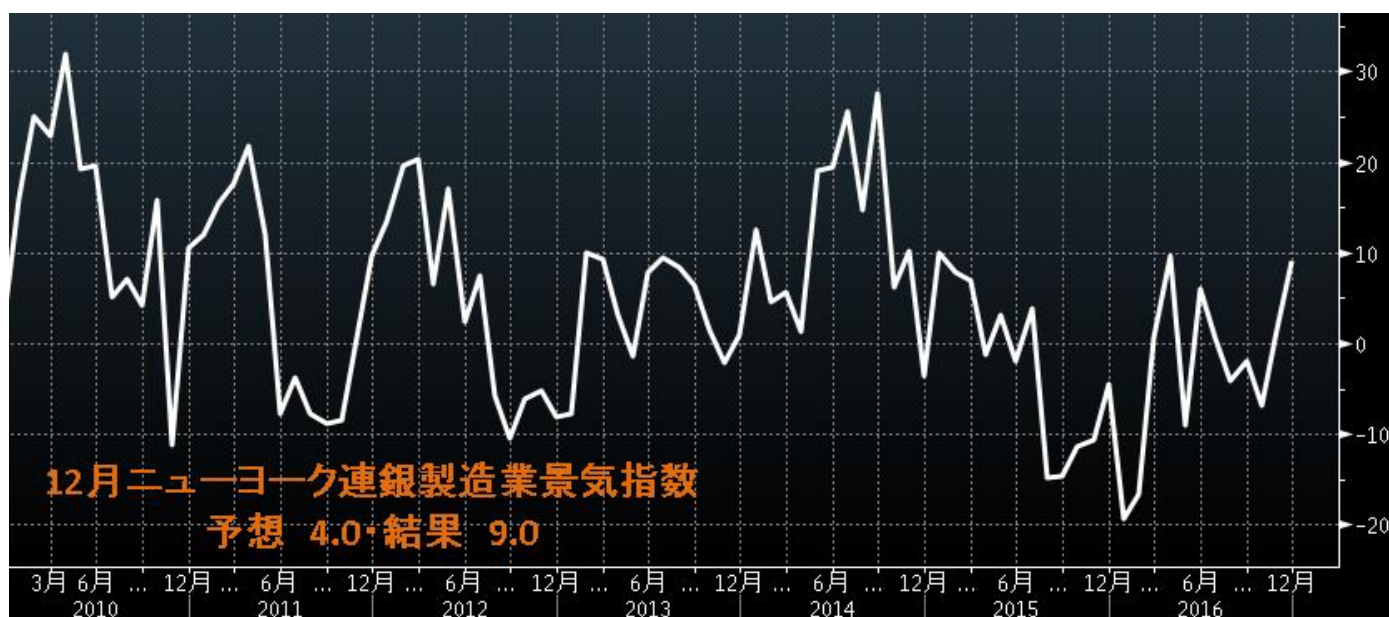
	11月	10月	9月	8月	7月	6月
全品目	0.2	0.4	0.3	0.2	0.0	0.2
除く食品・エネルギー	0.2	0.1	0.1	0.3	0.1	0.2
エネルギー	1.2	3.5	2.9	0.0	-1.6	1.3
サービス	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3
食品・飲料	0.0	0.0	0.0	0.0	-0.0	-0.1

11月の米消費者物価指数は、前月比+0.2%となり、市場予想と一致した。前年同月比では+1.7%となった。OPECによる減産合意前で、原油価格が落ち着いていたことも影響した。変動が激しいエネルギーと食品を除いたコア指数は、前月比+0.2%と市場予想と一致、前年同月比では+2.1%となった。エネルギー価格は+1.2%となり、ガソリンは+2.7%。食品は横ばいとなった。食品・エネルギー以外の分野では、自動車が新車は-0.1%となった一方、中古車は+0.3%、住居費は+0.3%、医療と衣料はともに-0.5%だった。

22:30

《経済指標の結果》

12月ニューヨーク連銀製造業景気指数 9.0 (予想 4.0・前回 1.5)



出所：Bloomberg

経済指標データ

《NY連銀製造業景況指数》

現状)

	12月	11月	10月	9月	8月	7月
業況	9.0	1.5	-6.8	-2.0	-4.2	0.6
仕入価格	22.6	15.5	22.6	17.0	15.5	18.7
販売価格	3.5	2.7	4.7	1.8	2.1	1.1
新規受注	11.4	3.1	-5.6	-7.5	1.0	-1.8
出荷	8.5	8.5	-0.6	-9.4	9.0	0.7
在庫	-13.9	-23.6	-12.3	-12.5	-4.1	-8.8
雇用者数	-12.2	-10.9	-4.7	-14.3	-1.0	-4.4

6ヵ月先の見通し)

	12月	11月	10月	9月	8月	7月
業況	50.2	29.9	36.0	34.5	23.7	29.2
仕入価格	42.6	39.1	35.8	41.1	25.8	26.4
販売価格	22.6	20.9	20.2	20.5	9.3	7.7
新規受注	46.7	28.7	39.0	31.9	27.4	29.1
出荷	40.1	26.0	26.5	21.2	28.0	29.8
在庫	8.7	-10.0	-0.9	-0.9	5.2	-3.3
雇用者数	23.5	10.9	9.4	7.1	-6.1	1.1

同指標はゼロが景況の分岐を示す

22:30

《経済指標の結果》

12月フィラデルフィア連銀景況指数 21.5 (予想 9.3・前回 7.6)



出所: Bloomberg

経済指標データ

《フィラデルフィア連銀指数》

	12月	11月	10月	9月	8月	7月
景況指数	21.5	7.6	9.7	12.8	2.0	-2.9
仕入価格	29.4	27.5	7.0	20.6	19.7	9.9
販売価格	5.8	16.0	-3.7	9.7	7.1	0.3
新規受注	13.9	18.6	16.3	1.4	-7.2	11.8
出荷	22.0	19.5	15.3	-8.8	8.4	6.3
受注残	5.7	4.1	-0.7	-10.8	-15.0	1.9
入荷遅滞	7.6	6.1	-0.3	-9.3	-3.8	1.3
在庫水準	1.1	13.4	-12.8	26.2	-9.2	-4.3
雇用者数	6.4	-2.6	-4.0	-5.3	-20.0	-1.6

6ヵ月先予想

	12月	11月	10月	9月	8月	7月
景況指数	52.6	29.3	32.6	37.5	45.8	33.7
仕入価格	47.1	36.7	42.4	42.1	29.1	26.4
販売価格	30.0	31.0	29.2	33.4	13.9	24.1
新規受注	51.5	37.4	39.3	36.7	44.9	29.2
出荷	51.9	30.2	40.8	30.5	51.0	27.2
受注残	17.9	8.1	15.3	9.7	3.2	12.1
入荷遅滞	14.2	5.4	6.2	8.5	-2.2	0.5
在庫水準	20.7	6.2	14.0	6.3	-7.3	0.3
雇用者数	27.5	11.8	25.9	24.9	12.9	12.8

22:30

《経済指標の結果》

3Q 米経常収支 -1130 億 USD (予想 -1116 億 USD・前回 -1183 億 USD)

前回発表の-1199 億 USD から-1183 億 USD に修正

2016 年 7-9 月期の米経常収支の赤字額は、前期比-4.5%の 1129 億 5800 万ドルと 2 期連続で縮小した。経常赤字の GDP に占める比率は 2.4%で、前期から 0.2 ポイント低下した。貿易赤字が減ったことで、赤字額が縮小した。モノとサービスを合わせた赤字額は-6.7%の 1164 億 3300 万ドル。海外投資から得られる利子や配当を示す第 1 次所得収支の黒字は-1.9%の 434 億ドル。資本収支では、海外から米国への投資が 2514 億 5900 万ドルのプラス。米国から外国への投資も 314 億 5100 万ドルのプラスとなった。

23:45

《経済指標の結果》

12 月マークイット米国製造業 PMI 54.2 (予想 54.5・前回 54.1)



出所: Bloomberg

0:00

◀ 経済指標の結果 ▶

12月米NAHB住宅市場指数 70 (予想 63・前回 63)



出所：Bloomberg

指標結果データ

◀NAHB 住宅市場指数▶

12月・11月・10月・9月・8月・7月
 住宅市場指数・・・70・・・63・・・63・・・65・・・60・・・58
 現状指数・・・76・・・69・・・69・・・71・・・65・・・63
 見通し指数・・・78・・・69・・・72・・・71・・・67・・・66
 顧客動向指数・・・53・・・47・・・46・・・48・・・44・・・45

12月の米NAHB住宅市場指数は、市場予想の63を大きく上回る70となり、2005年7月以来11年ぶりの高水準となった。現況指数は76（前月69）となり、6ヵ月先の販売見通しは78（69）と2005年6月以来の高水準、また購入見込み客足指数は53（前月47）と11年ぶり高水準と全ての指数で大幅上昇となった。同指数は50を上回ると住宅建設業者の多くが現況を「良い」とみていることを示す。

◀欧州のポイント▶

①ノルウェー中銀は、市場の予想通り政策金利を0.50%で据え置いた。中銀は「政策金利見通しからみて、今後1年の金利は上昇よりも低下する可能性のほうがやや高いことを示している」と指摘した。オルセン総裁は声明で「現在の中銀の見通し判断では、主要政策金利は現在の水準に当面はとどまる可能性が最も高い」と述べた。

②スイス中銀は、中銀預金金利は-0.75%に、3ヵ月物LIBORの誘導目標は-1.25~-0.25%に維持した。声明で「マイナス金利および為替市場への介入意思は、スイスフラン投資の魅力を低下させフランを低水準に抑える意図がある」とした。また、2017年と2018年の予想インフレ率は引き下げたが、今年と翌年の経済成長率見通しは約1.5%を維持した。

③イタリア政府は、経営再建中のモンテ・デイ・バスキ・ディ・シエナを含む国内銀行に対する950億ユーロ（998億ドル）規模の支援策を22日に承認する見通しと現地紙が報じた。支援策では銀行の株式発行支援向けに150億ユーロを用意、政府が支援に踏み切った場合に債務株式化によって投資家が負う損失を軽減する措置を盛り込む。支援策はさらに、銀行の流動性支援向けに800億ユーロの保証を盛り込む見通し。銀行はこれをECBに担保として差し入れる債券や資産売却に用いる債券の保証に充てることができる。

＜欧州株式市場＞

欧州株式市場は、米国の利上げを背景に銀行株が上昇したほか、ユーロや英ポンドが対ドルで下落し、輸出企業の収益改善を期待した買いもみられ、主要株価が堅調な動きとなった。



出所：Bloomberg

4 : 00

＜ 経済指標の結果 ＞

メキシコ政策金利発表 5.75% (予想 5.50%・前回 5.25%)



出所：Bloomberg

<< NY 金市場 >>

NY 金は、中心限月が前日比 33.90 ドル安の 1 オンス=1129.80 ドルで取引を終了した。

NY 金は、FOMC が前日公表した政策金利見通しで、来年の予想利上げ回数を引き上げたことが材料視され、売りが先行した。また、ドルが主要通貨に対して大幅上昇したことも圧迫要因となった。終値ベースでは、2 月上旬以来約 10 ヶ月ぶりの安値水準となった。



出所：Bloomberg

<< NY 原油市場 >>

NY 原油は、中心限月が前日比 0.14 ドル安の 1 バレル=50.90 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、ドルがユーロや円に対して大幅上昇したことから、ドル建て原油の割高感から売りが優勢となり、一時は 1 バレル=50 ドルを割り込む場面もあった。ただ、OPEC が減産合意を順守するとの期待から買い戻しも入り、下げ幅を縮小した。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

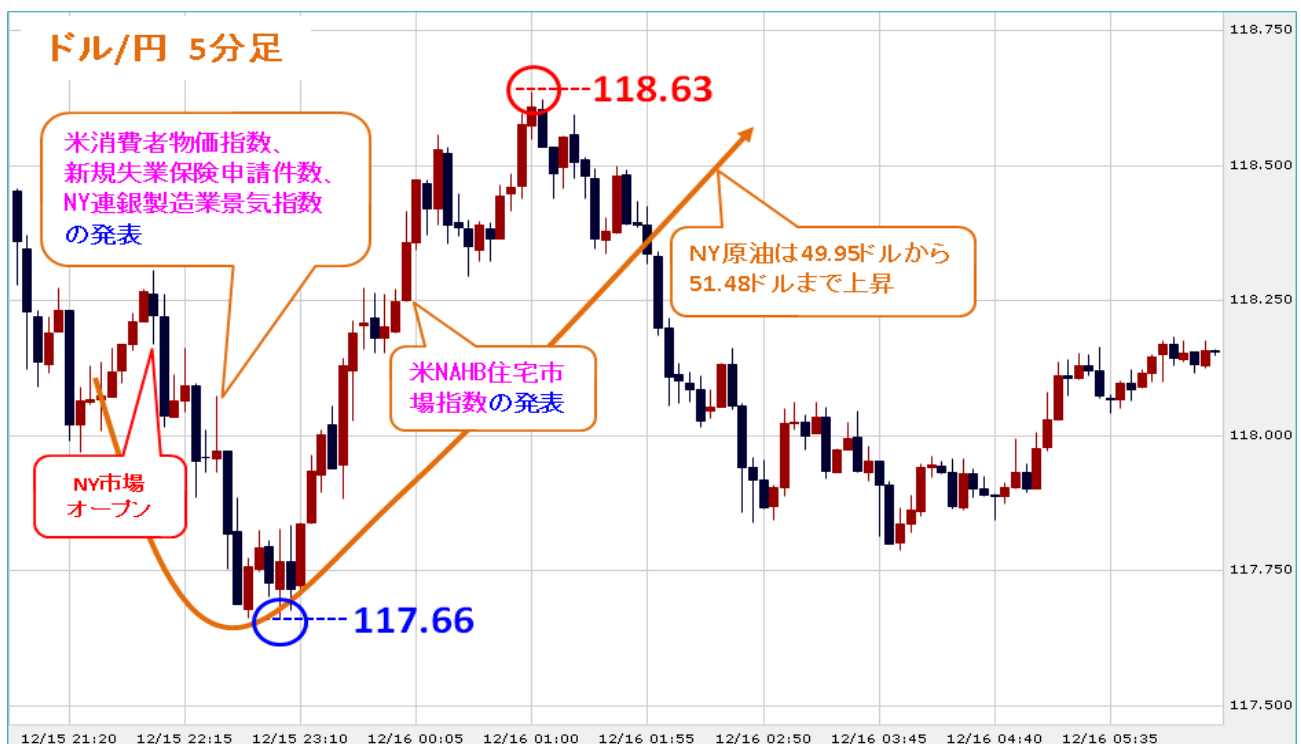
米株式市場は、米FRBの利上げペース加速を見込んで米金利の水準が総じて上昇したことを受けて、金融株を中心に堅調な動きとなった。また、米経済指標が堅調な結果が続いたことも影響した。その後は、利益確定の動きなどから、上げ幅を縮小する動きとなった。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、製造業関連の経済指標が堅調な結果となったものの、消費者物価が前月比で低下したこともあり、序盤は上値の重い動きとなった。その後は、株価や債券利回りの上昇を受けて、ドル円・クロス円は堅調な動きも見られた。ただ、ドルが主要通貨に対して上昇したことから、ユーロやポンドなどのクロス円も軟調な動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。